

1. 自己紹介

私は、「鹿児島県立農業大学校」2年生の今村成亮（いまむらなりあき）21歳です。地元の工業高校を卒業後、民間企業に就職していました。実家は、茶業を営んでおり、当初、あまり家業を継ぐ気はなかったのですが、父親の体調があまり良くなかったことなどもあり、退職し、家業を継ごうと思いました。



研修中の今村さん

2. 研修に参加した理由

農業大学校から入学を勧められたことや、祖父、父からも「すぐに就農するのではなく、農業大学校で基礎的な知識や経験を得てから就農した方が良いのではないか。」とのアドバイスもあり、入学することにしました。

私は茶業科を専攻しましたが、学生が1名だったこともあり、ほぼマンツーマンでの授業だったため、納得できるまで質問したり、内容の濃い講義や実習を受けることができました。

3. 研修内容

入学した時期は、ちょうど一番茶の時期で、何もわからないまま、摘採、加工・製造の実習を行います。その場で質問したり、説明等を受けて、そこで大まかな全体像を把握します。その後、お茶の時期が落ち着いたころに、講義で生産から加工・製造までの流れを振り返ることでより理解が深まるカリキュラムとなっています。



お茶の摘採機の研修

また、日本茶インストラクターの資格取得に向けた勉強でも分かりやすくサポートしてもらいました。研究機関の方ともやり取りすることも多く、様々な知識だけでなく、農家留学研修として、実際にお茶農家で1～2か月の実務を経験できました。

4. 将来のビジョン

茶の品質にこだわっていきたいです！一番茶、二番茶で勝負ができる生産者を目指したいです！

5. これから就農を目指す方へのメッセージ

就農前に、農業大学校で基礎的な知識や経験を得た方が良いでしょう。

脱サラされた方等、年齢・経歴を問わず、就農意欲や熱意のある方が勉強されます。本気で就農を目指す方は、ぜひ農業大学校で勉強されることをおすすめします。

研修先：鹿児島県立農業大学校 担当者 都外川 総明

所在地及び連絡先 日置市吹上町和田 1800 電話：099-245-1071

e-mail：nodaikyo@pref.kagoshima.lg.jp

